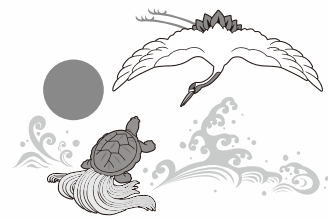


100歳おめでとうございます

12月に100歳を迎えた皆さんに市長からお祝い状とお祝い金が贈られました。



坂梨 シヅカさん (大正8年12月14日生) 森 キミ子さん (大正8年12月15日生)
※本人の希望により写真は掲載していません。

市内最高齢 林シノブさん110歳のお祝い

12月11日、菊香園で本市最高齢者の林シノブさんを祝う会が開かれ、市長から記念品や花束が贈呈されました。林さんは3月に誕生日を迎えると、県内最高齢の111歳となります。

林さんのお孫さんは「祖母は若い頃、自宅から職場まで約3km歩いて通っており、108歳まで自力で歩行していました。毎日穏やかに過ごしているので、今のまま長生きしてほしいです」と語りました。



林さんの健康の秘訣は3度の食事をしっかり取ることです

市内小学生が入賞 社会を明るくする運動県作文コンテスト

12月11日、熊本市で第69回社会を明るくする運動県作文コンテスト表彰式が行われ、永野真実さん(合志南小6年)が県推進委員会委員長(県知事)賞を受けました。

式では永野さんが思いを込めた作文『保護司の武藤さんから教わったこと』を披露。他の受賞作品の発表や審査委員長(熊本日日新聞論説委員長)の講評も行われました。



左から永野さん、保護司の武藤さん

黒石原支援学校が全国唯一の賞を獲得 全国小学校ラジオ体操コンクール

12月4日、黒石原支援学校で第6回全国小学校ラジオ体操コンクールの表彰式が行われ、同校が東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会担当大臣賞を受賞しました。これはかんぽ生命が毎年行っており、同賞はことし特別に作られました。

同校は正しく楽しく体操をしている点が評価され、全国約570チームの中から受賞。児童たちは「しっかり手を動かすことを頑張りました」と話しました。



受賞を喜ぶ黒石原支援学校の皆さん

自然のぬくもり描き 絵画展で最高賞

11月13日、高森町で第29回高森町大阿蘇絵画展が行われ、井上昌子さん(沖野台)の作品が最高賞の特選1席に入賞しました。

『秋のぬくもり』と題したこの作品について、井上さんは「熊本地震で傷ついた山と共存する高森の皆さんに、自然とのぬくもりを取り戻してもらいたくて描きました。賞をいただいたことに感謝します」と語りました。



65作品の中から最高賞に選出された井上さんの作品

肥後にわかで 楽しいひと時 笑いの祭典

12月1日、ユーパレス弁天で笑いの祭典が行われました。これは市民の楽しみと交流の場にしたいと林悦美さん(上須屋)が企画しています。

当日は有志の皆さんのダンスや歌などの披露のあと、ばってん城次さんなどが出演し肥後にわか演劇が行われました。熊本弁を使ったユーモラスな肥後にわかに、会場中で笑いが溢れ、観客は楽しいひと時を過ごしました。



大勢の観客の笑いを誘った肥後にわか

目指すは 世界一 スズキワールドカップ全国大会優勝

11月9日から10日にかけて、東京都でスズキワールドカップ2019全日本総合エアロビック選手権大会が開催されました。川畑光佳流さん(合志南小6年)がユース1男子シングル部門で優勝し、きょうだいの結愛さん(合志中2年)がユース2女子シングル部門で9位。愛花里さん(済々黉高校1年)、千愛さん(合志南小2年)の、きょうだい4人で出たエンジョイチーム部門ではパフォーマンス賞を受賞しました。



光佳流さんは世界大会への出場権を獲得しました

開運願う 地域の祭り 弘生ウソ替祭

11月29日、弘生菅原神社で弘生ウソ替祭が行われました。この祭りは毎年、開運や厄除けを願い地域住民の手で開催されており、当日は地域の子どもたちなどが参加しました。

祈願のあと参加者にウソ替え券と呼ばれる番号札を配布。子どもたちが順番に富突きという方法で賞品の抽選を行ない、結果に一喜一憂する参加者の姿が見られました。



富突きで抽選番号を引く参加者